

2018.11.01

山口きらめき財団助成金事業
QGIS 講習会 レポート (ver1.0)

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局) 弘中 淳一



【開催要項】 (参加者) 5名、学生サポータ 5名、スタッフ他 7名 (計 17名)

- ① 日時 : 2018/ 10/ 27(土) 9:00~17:00
- ② 場所 : 山陽小野田市立山口東京理科大学 (5105 講義室)
- ③ 主催 : 一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- ④ 後援 : 山陽小野田市、山陽小野田市立山口東京理科大学
- ⑤ 講師 : 青木和人氏@あおき地理情報システム研究所 (京都)

1. GIS テクノロジ講習(9:00-10:30)

GIS のテクノロジーを座学で講習しました。

理解できると操作もだいぶ楽になります。どういう仕組みで情報が取れるかがわかるためです。講習の内容は以下の通りです（だいぶ絞り込んだつもりです）。

「表と地図のリンク=GIS データベース」

「情報（レイヤ）の重ね合わせ」

「ベクタデータとラスタデータ」

「測地系・座標系」

「GIS データの著作権」

【講習風景】



参加者からは「面白い」という声も聞こえました。特に座標系の話は、学校での地理教育以来でしょう。「球体面を平面に投影すると端がゆがむ」など地図の作り方のお話に関係します。

2.QGIS 基本操作 (10:30-12:00)

5名の参加者に、5名の学生サポータをつけて、操作講習が始まりました。

「地図の拡大・縮小・移動 (スクロール)」 「レイヤ表示制御・表示順変更」

「オープンデータの表示 (国土数値情報)」

「属性情報を元とした地図の表現変更 (スタイル変更、ラベル定義)」

「縮尺制御 (地図、ラベル)」

GIS (特に地図の操作) は一般の文書作成とはマウス操作が若干違うので、困惑しているようです。でも学生さんとは息ぴったりですね。



3.QGIS を使った地域ハザードマップ作成 (13:00-16:00)

午後からは、8/18 防災 WS で街歩きをした地図 (A3 サイズ) を片手に実施

「写真の位置情報を元に、位置情報を作成 (photo2shape プラグイン)」

「地域の危険箇所データ作成」

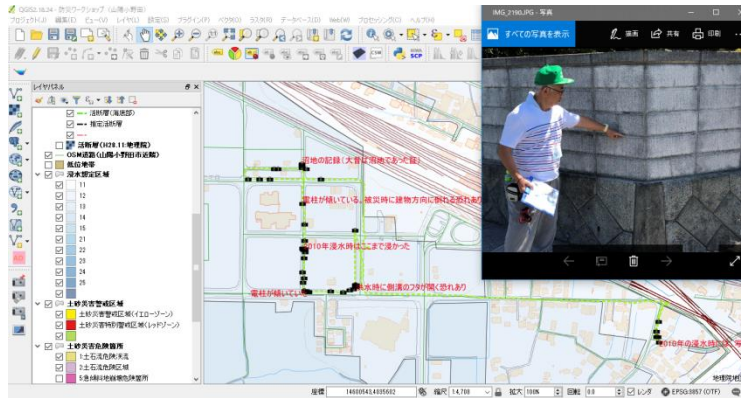
※写真から生成した位置情報は写真を撮った箇所であり、危険箇所とずれている。

これを危険箇所に移動する操作を実施

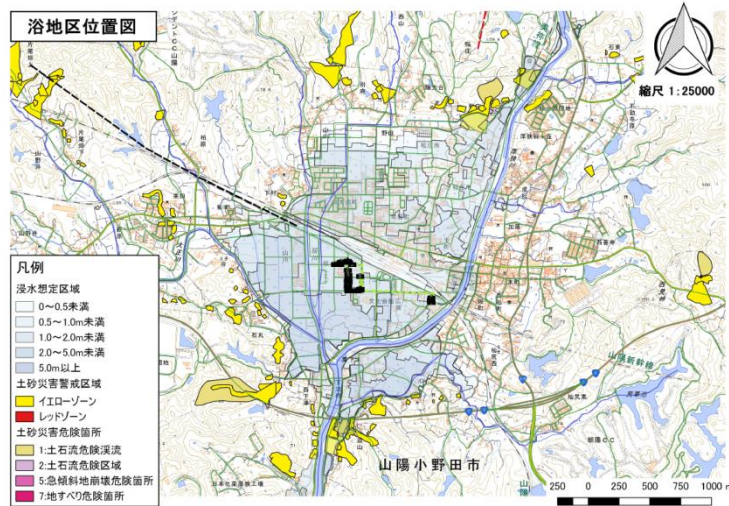
「印刷地図作成 (地域ハザードマップ)」



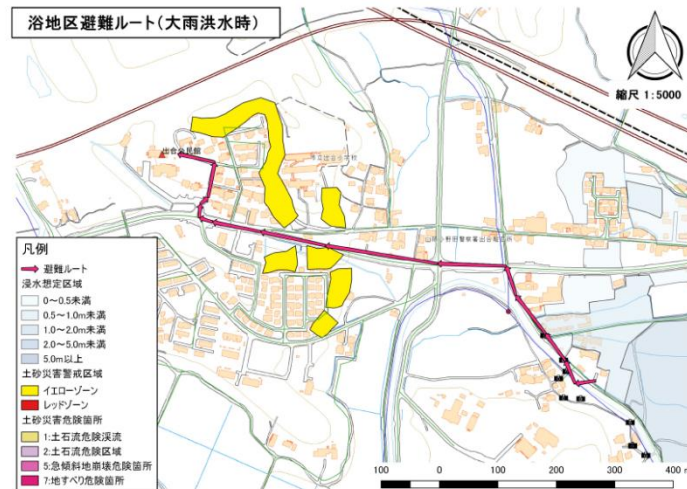
【サンプル1】危険箇所のコメント入力&写真表示



【サンプル2】地域ハザードマップ（洪水&土砂災害）



【サンプル3】避難ルート作成



4.グループ発表

防災 WS の時と同じ 1~4 グループで、作成した地域ハザードマップを用いて、それぞれ地域の危険箇所を発表しました。

(8/18 に実施した防災ワークショップを思い出しました)。



【所感】

お忙しい中、ご参加・ご協力、大変お疲れさまでした。

前回 2017 年に山口市で実施した時も、また今回のアンケートからも「QGIS 操作は難しい」という声が聞こえましたが、今回はマンツーマンでの学生サポーターが丁寧に指導してくださったおかげで、ほぼ予定の講習が終了しました（残念ながら避難経路の作成までは届きませんでした）。

今回の講習で、参加者自身の PC には QGIS および山陽小野田市近隣地域のオープンデータをセットアップしており、講習後このまま地域防災活動に使ってもらいたいのですが、なかなかそうはならないでしょう。たった 1 日だけの講習で使いこなせるとは思えず、アンケートでは「気軽に QA できるサポートセンターが欲しい」という意見もありました。しかし今般、無償で使える GIS ソフト・データがそろってきており、これを GIS で生かさない手はないと考えます。GIS が地域防災活動に寄与するよう、地域の防災士さんに手厚いサポートしていかなければ、と痛感しました。

最後に、土曜日にもかかわらずご来場くださりました来場者のみなさま、青木@講師さん、山口東京理科大の学生サポーター・先生方、山陽小野田市の方々、そしてチームスタッフ一同に厚くお礼を申し上げます。

以 上